

# 川辺町個別施設管理計画

(教育委員会部局)

(追補版)

令和 4 年 3 月

 川辺町 教育委員会

# 川辺町個別施設管理計画（教育委員会部局）（追補版） 目次

追補版の目的 .....	1
川辺町小学校統合に関する取組の概要 .....	1
追補版の記載内容 .....	2

## 追加・修正箇所

<b>第3章</b>	<b>教育施設の実態 .....</b>	<b>3</b>
3.1	教育施設の運営状況、活用状況の実態 .....	3
3.2	教育施設の老朽化状況の実態 .....	4
<b>第6章</b>	<b>長寿命化の実施計画 .....</b>	<b>5</b>
6.1	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 .....	5
6.2	保全優先順位の設定 .....	7
6.3	実施計画 .....	8
6.4	維持・更新の課題と今後の方針 .....	9

## 追補版の目的

本町では、教育・児童福祉・社会教育施設を対象として「川辺町個別施設管理計画（教育委員会部局）」（以下、「当初版」という。）を令和2年3月に策定しました。

川辺町個別施設管理計画（教育委員会部局）追補版（以下、「追補版」という。）は、当初版策定後に本町内の既存の3小学校（川辺西小学校、川辺北小学校、川辺東小学校）を統合して令和12年度に向けて新小学校の開校に向けて取組を進めていること、上位計画である「川辺町公共施設等総合管理計画」を令和4年3月に改訂することを踏まえて、本計画の対象とする施設の今後の維持・更新コストや令和2年度から10年間の実施計画など当初版を追加・修正し、記載内容を補充することを目的としています。

## 川辺町小学校統合に関する取組の概要

本町においては、少子化の進展等に応じた対策及び教育環境の充実化を図るため、既存の3小学校を統合して令和12年度の新小学校の開校に向けて取組を進めています。

川辺町小学校統合に係るこれまでの経緯として、平成28年度に「川辺町小学校将来構想策定委員会」を組織し、小学校の建て替え、再編や統廃合も含めて議論してきました。令和3年度には、既存の3小学校を統合し、既存の川辺中学校の敷地内を候補地として新たな小学校を整備する方針のもと、概算事業費の算出、財源調査、全体スケジュールのロードマップを作成し、各種取組を進めています。



図 小学校の統合イメージ

### ◆全体スケジュールのロードマップ

令和3年度まで 2021まで	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027	令和10年度 2028	令和11年度 2029	令和12年度 2030
計画策定・概算事業費算定等									
	用地検討・用地取得等								
				基本設計・実施設計等		工事監理・校舎建設工事等			
									開校

## 追補版の記載内容

追補版では、以下の3点について記載しています。

### ① 今後の維持・更新コスト

既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を進めていることを踏まえて、当初版の策定時に算出した今後の維持・更新コスト（従来型、長寿命化型）を見直しました。

なお、既存の3小学校について、統合後の利活用に関して現時点では未定であることから、今後の維持・更新コストの算出にあたっては、大規模な改修等は行わず、安全確保のための修繕のみを行う予定とし、維持・更新コストは見込まないものとしています。

### ② 保全の優先順位及び実施計画

既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を進めていることを踏まえて、保全の優先順位及び実施計画を見直しました。

### ③ 維持・更新の課題と今後の方針

既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を進めていることを踏まえて、適正規模・適正配置の実施に関する記載を見直しました。

# 第3章 教育施設の実態

## 3.1 教育施設の運営状況、活用状況の実態

### 3.1.4 今後の維持・更新コスト（従来型）

（当初版：P.11）

本計画の対象施設について、従来の事後保全型の維持・更新を実施して耐用年数を40年とした場合の40年間のコストを試算すると、総額で約70億円、単年度あたり約1.7億円の費用が必要となります。財政支出の集中する時期については、計画的な維持・更新等により財政負担の平準化が必要となります。

#### 【追加・修正内容】

維持・更新コストは次のような試算条件で算出しています。

- ・既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を踏まえて、既存の3小学校に係る大規模な維持・更新コスト費用を見込んでいません。
- ・なお、既存の3小学校については、統合後の利活用に関して現時点で未定であることから、当面は安全確保のため修繕等の対応を実施していきます。

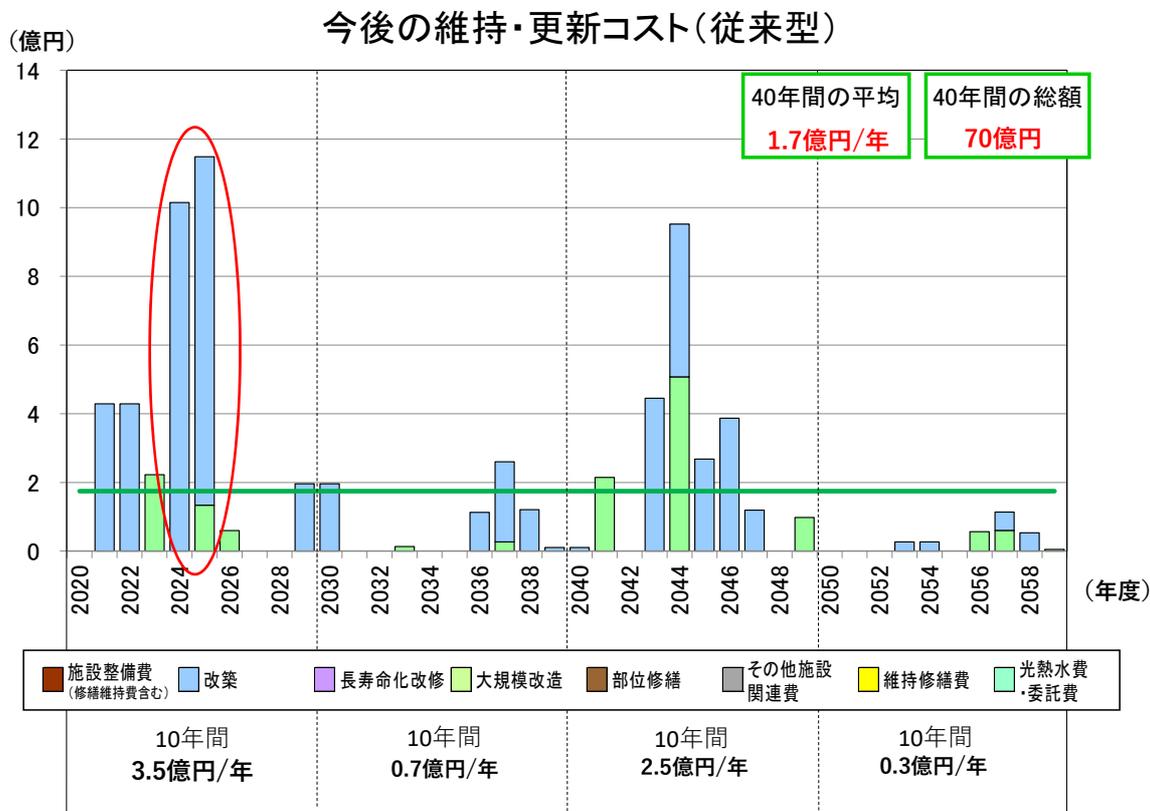


図 3.1 今後の維持・更新コスト（従来型）

## 3.2 教育施設の老朽化状況の実態

### 3.2.3 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

（当初版：P.17）

本計画の対象施設について、長寿命化による予防保全型の維持・更新を実施して耐用年数を80年とした場合の40年間のコストを試算すると、総額で約54億円、単年度あたり約1.4億円の費用が必要となります。

#### 【追加・修正内容】（従来型と同様）

維持・更新コストは次のような試算条件で算出しています。

- ・既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を踏まえて、既存の3小学校に係る大規模な維持・更新コスト費用を見込んでいません。
- ・なお、既存の3小学校については、統合後の利活用に関して現時点で未定であることから、当面は安全確保のため修繕等の対応を実施していきます。

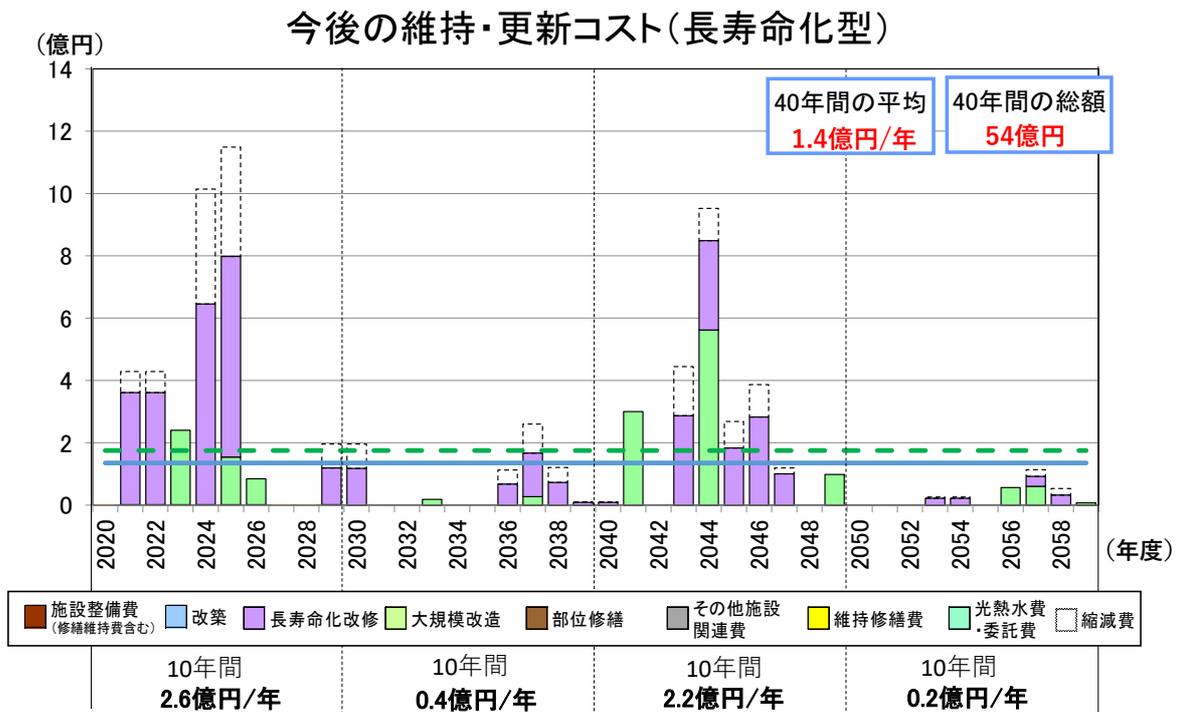


図 3.2 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

※維持・更新コストの算出においては、「建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）を参考にした単価を設定します。

# 第6章 長寿命化の実施計画

## 6.1 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 (当初版：P.27)

第3章で試算した従来型と長寿命化型の維持・更新コストを比較すると、長寿命化型の維持管理は従来型と比べて、単年度あたり約0.3億円の財政負担を低減する効果が確認できます。予防保全型の維持管理の導入を促進し、対象施設の長寿命化に取り組んでいくことが重要です。

また、現在検討を進めている既存の3小学校統合に関する取組とあわせて、既存の3小学校の既存施設・跡地については、民間活力の活用等による利活用などを視野に入れて、財政負担の低減を検討していく取組を推進していきます。

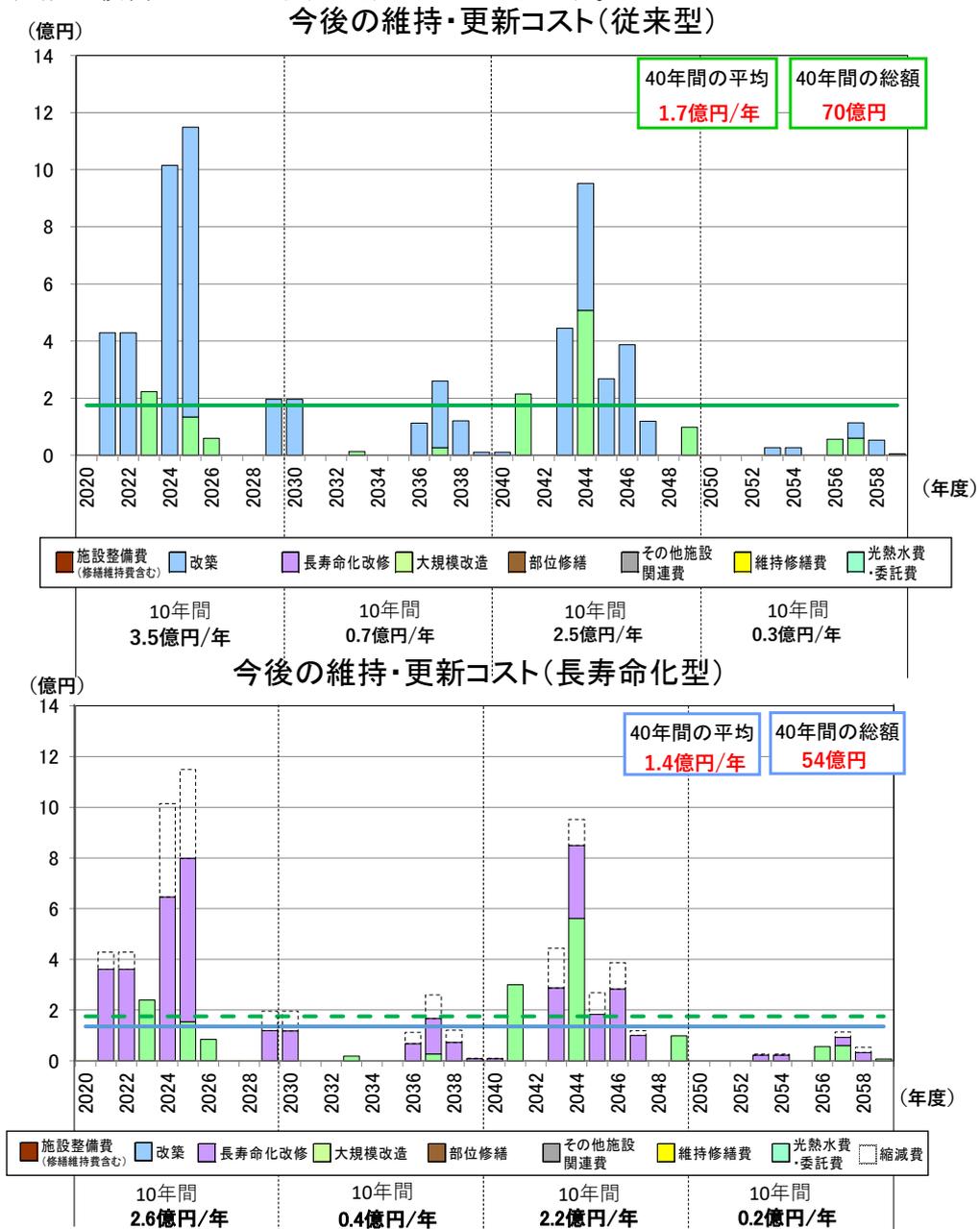


図 6.1 従来型と長寿命化型の維持・更新コストの比較

新小学校建設に関する費用を見込んだ場合、以下に示すとおり 40 年間の総額で約 91 億円、単年度あたり約 2.3 億円が必要となります。

長寿命化型の維持・更新コストの約 1.7 倍となることから、財政負担の低減に対する各種取組の実施が必要となります。

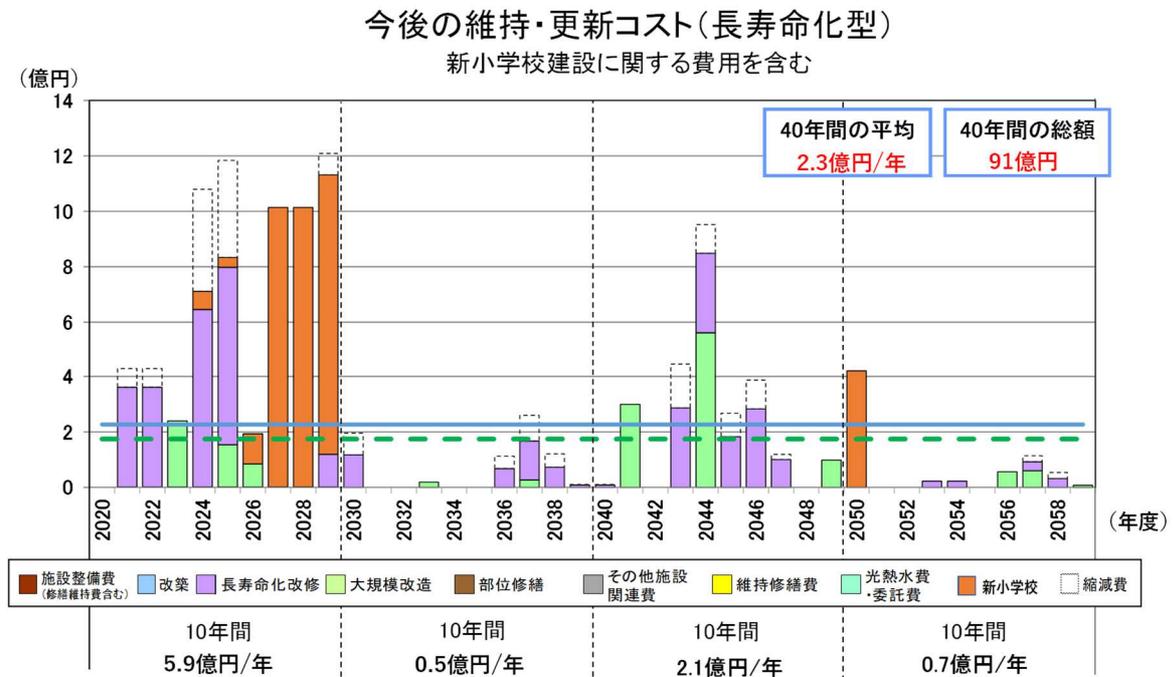


図 6.2 長寿命化型の維持・更新コスト (新小学校建設に関する費用を含む)

## 6.2 保全優先順位の設定

### 6.2.2 保全優先度の算定結果

(当初版:P.29)

6.2.1 保全優先度算定の考え方を踏まえて、建物毎の保全優先度の算定結果を整理すると以下のとおりとなります。

#### 【追加・修正内容】

- ・既存の3小学校については、統合後の利活用に関しては現時点で未定なため、大規模な維持・更新等に関する対策は見送ることとし、保全優先度から除外しました。

表 6.1 建物毎の保全優先度の算定結果

優先順位	No.	施設名	棟名	延床面積 (㎡)	建築年	築年数	老朽化度	劣化状況評価					健全度	保全優先度
								屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		
-	1	川辺西小学校	教室棟	3,496	1967	55	69	A	B	C	C	C	55	-
-	2	川辺西小学校	屋内運動場	1,179	1998	24	30	A	B	B	B	B	77	-
-	3	川辺西小学校	プール附属棟	128	1993	29	36	B	A	B	B	B	82	-
-	4	川辺北小学校	教室棟	2,847	1979	43	54	B	B	C	C	C	53	-
-	5	川辺北小学校	屋内運動場	960	1980	42	53	B	A	B	B	B	82	-
-	6	川辺北小学校	プール附属棟	110	1979	43	54	C	B	C	C	B	54	-
-	7	川辺東小学校	教室棟	2,725	1981	41	51	A	C	B	C	B	62	-
-	8	川辺東小学校	屋内運動場	750	1981	41	51	A	B	C	B	B	64	-
-	9	川辺東小学校	プール附属棟	83	1988	34	43	B	B	B	B	B	75	-
4	10	川辺中学校	教室棟	2,553	1984	38	48	B	C	B	B	B	65	82.50
2	11	川辺中学校	特別教室棟	2,096	1984	38	48	A	C	C	B	B	54	93.50
10	12	川辺中学校	屋内運動場、武道場	1,680	2005	17	21	C	C	A	A	A	78	43.58
12	13	川辺中学校	プール附属棟	65	1999	23	29	A	A	A	B	B	94	35.08
6	14	第1こども園	教室棟	1,231	1989	33	41	B	B	B	B	B	75	66.25
5	15	第2こども園	教室棟	706	1996	26	33	B	C	B	B	B	65	67.50
8	16	第3こども園	教室棟	1,906	2003	19	24	B	C	B	B	B	65	58.75
7	17	児童館	教室棟	363	2003	19	24	A	B	B	A	A	65	58.92
15	18	おおぞら教室	教室棟	335	2017	5	6	A	A	A	A	A	100	6.25
11	19	中央公民館	図書室	747	2006	16	20	A	B	B	A	A	84	36.50
1	20	中央公民館	本館	2,688	1981	41	51	B	B	C	B	C	58	93.58
13	21	北部公民館	本館	521	2003	19	24	A	B	A	A	A	93	30.92
14	22	ギャラリー山恵	本館	166	2013	9	11	A	A	A	A	A	100	11.25
3	23	B&G海洋センター	本館	1,716	1984	38	48	A	B	C	B	B	64	83.42
9	24	学校給食センター	本館	758	1997	25	31	B	B	B	B	B	75	56.25

### 6.3 実施計画

(当初版：P.30)

対象施設の維持・更新等においては、予防保全型の維持管理の導入による長寿命化の推進、適正規模・適正配置の基本方針及び財政平準化ラインを踏まえた上で、優先順位の高い施設より実施していきます。

以下に令和2年度から10年間の維持・更新等の実施計画の目安を示します。

#### 【追加・修正内容】

- ・既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた計画を踏まえて、令和12年度の新小学校開校に向けた用地取得、調査・設計、建設に関する概算経費を実施計画に反映しています。
- ・既存の3小学校については、統合後の利活用に関して現時点で未定なため、大規模な維持・更新コスト費用は計画から除外しています。

表 6.2 令和2年度から10年間ににおける維持・更新等の実施計画

No	優先順位	施設名	棟名称	構造	建築年度	築年数	実施内容										棟別合計金額
							令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027	令和10年度 2028	令和11年度 2029	
1	-	川辺西小学校	教室棟	RC	1967	55											0億円
2	-	川辺西小学校	屋内運動場	RC	1998	24											0億円
3	-	川辺西小学校	プール附属棟	RC	1993	29											0億円
4	-	川辺北小学校	教室棟	RC	1979	43											0億円
5	-	川辺北小学校	屋内運動場	RC	1980	42											0億円
6	-	川辺北小学校	プール附属棟	RC	1979	43											0億円
7	-	川辺東小学校	教室棟	RC	1981	41											0億円
8	-	川辺東小学校	屋内運動場	RC	1981	41											0億円
9	-	川辺東小学校	プール附属棟	RC	1988	34											0億円
10	4	川辺中学校	教室棟	RC	1984	38											0億円
11	2	川辺中学校	特別教室棟	RC	1984	38										長寿命化改修	3.7億円
12	10	川辺中学校	屋内運動場 武道場	RC	2005	17											0億円
13	12	川辺中学校	プール附属棟	RC	1999	23											0億円
14	6	第1こども園	教室棟	RC	1989	33											0億円
15	5	第2こども園	教室棟	RC	1996	26											0.4億円
16	8	第3こども園	教室棟	RC	2003	19										部位修繕	1.0億円
17	7	児童館	教室棟	RC	2003	19											0億円
18	15	おおぞら教室	教室棟	W	2017	5											0億円
19	11	中央公民館	図書室	RC	2006	16											0億円
20	1	中央公民館	本館	RC	1981	41										長寿命化改修	8.3億円
21	13	北部公民館	本館	S	2003	19											0億円
22	14	ギャラリー山恵	本館	W	2003	19											0億円
23	3	B&G海洋センター	本館	RC	1984	38											1.2億円
24	9	学校給食センター	本館	S	1997	25											0億円
25	-	新小学校	校舎他	RC	-	-											
年度別合計金額							0.5億円	0.5億円	0.8億円	0.8億円	0.6億円	0.4億円	4.7億円	13.7億円	12.5億円	12.5億円	約47.1億円

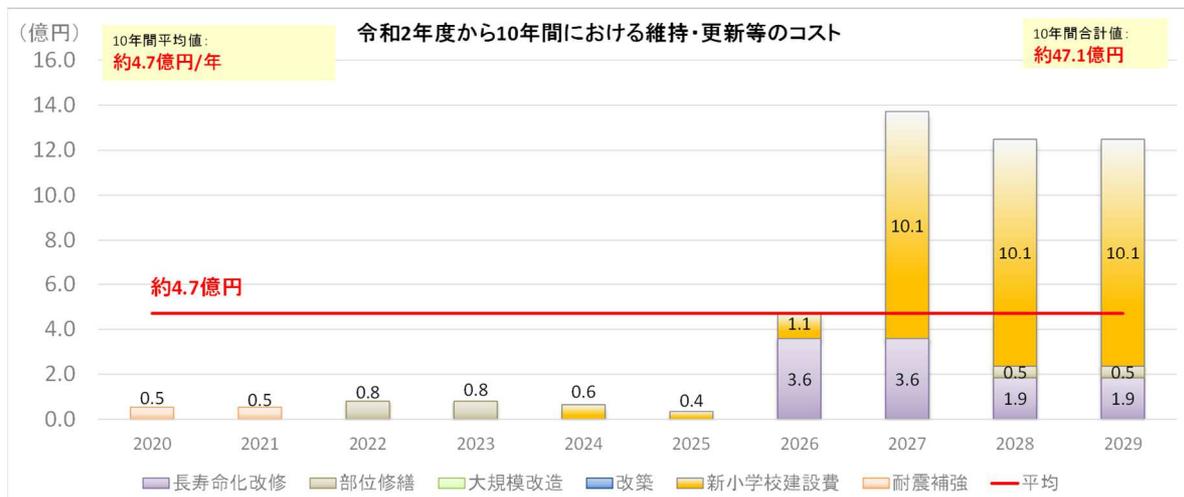


図 6.3 令和2年度から10年間ににおける維持・更新コスト

## 6.4 維持・更新の課題と今後の方針

### 6.4.1 計画の実効性の確保

(当初版:P.31)

本計画の実効性を確保していくため、以下のような課題があげられます。

#### (1) 適正規模・適正配置の実施

本計画の適正規模・適正配置の検討は、25年後の人口推計結果に基づいています。今後も少子高齢化の進展や社会的ニーズの変化を捉えて、適正なサービス水準を検討し、計画を見直すなど、継続的なマネジメントが必要となります。

また、既存の3小学校統合による新小学校建設に関する取組とあわせて、統合後の既存の3小学校の既存施設・跡地については、民間活力の活用、施設の利活用を進めるなど、引き続き財政負担の軽減に向けた取組を推進していくことが必要です。

#### 【追加・修正内容】

- ・既存の3小学校統合による新小学校建設に向けた取組を踏まえて、適正規模・適正配置の記載内容を修正しています。なお、既存の3小学校については、現時点では統合後の利活用等について未定のため、引き続き検討していく方針としています。

令和4年3月

川辺町教育委員会

〒509-0393

岐阜県加茂郡川辺町中川辺 1518-4

Tel. 0574-53-2511

